

①と②は、必ずご記入下さい。 本年中または前年以前に他に退職手当を受けた場合、③～⑥の該当箇所にご記入ください。 その場合、源泉徴収票（写し）をご提出ください。

年

月

日

税務署長 殿 / 市町村長 殿

年分 退職所得の受給に関する申告書 兼 退職所得申告書

退職手当の支払者の所在地（住所）〒670-8505 姫路市下寺町 4 3

名（氏名）姫路商工会議所

法人番号（個人番号）※提出を受けた退職手当の支払者が記載してください。3 1 4 0 0 0 5 0 1 3 5 5 9

あなたの現住所〒

氏名

個人番号

その年1月1日現在の住所

②このA欄には、全ての人が、記載してください。（あなたが、前に退職手当等の支払を受けたことがない場合には、下のB以下の各欄には記載する必要がありません。）

①退職手当等の支払を受けることになった年月日

年 月 日

②退職の区分等

<一般・障害の区分>

一般 ・ 障害

<生活扶助の有無>

有 ・ 無

③この申告書の提出先から受ける退職手当等についての勤続期間

うち 特定役員等勤続期間

うち 一般勤続期間との重複勤続期間

うち 短期勤続期間との重複勤続期間

うち 短期勤続期間

あなたが本年中に他にも退職手当等の支払を受けたことがある場合には、このB欄に記載してください。

④本年中に支払を受けた他の退職手当等についての勤続期間

うち 特定役員等勤続期間

うち 短期勤続期間

⑤③と④の通算勤続期間

うち 特定役員等勤続期間

うち 一般勤続期間との重複勤続期間

うち 短期勤続期間との重複勤続期間

うち 全重複勤続期間

うち 短期勤続期間

うち 一般勤続期間との重複勤続期間

あなたが前年以前に次の退職手当等の支払を受けた場合には、その退職手当等について、このC欄に記載してください。

⑥左記の前年以前に支払を受けた退職手当等についての勤続期間

⑦③又は⑤の勤続期間のうち、⑥の勤続期間と重複している期間

⑧うち 特定役員等勤続期間との重複勤続期間

⑨うち 短期勤続期間との重複勤続期間

①前年以前4年以内に退職手当等の支払を受けた場合（②及び③の場合を除きます。） 前年以前4年以内に支払を受けた退職手当等

②令和8年1月1日以後、かつ、前年以前9年以内に確定拠出年金法に基づく一時金の支払を受けた場合（③の場合を除きます。） 次の退職手当等・令和8年1月1日以後、かつ、前年以前9年以内に支払を受けた退職手当等・令和8年1月1日前、かつ、前年以前4年以内に支払を受けた退職手当等

③本年中に確定拠出年金法に基づく一時金の支払を受ける場合 前年以前19年以内に支払を受けた退職手当等

A又はBの退職手当等についての勤続期間のうちに、前に支払を受けた退職手当等についての勤続期間の全部又は一部が通算されている場合には、その通算された勤続期間等について、このD欄に記載してください。

⑧Aの退職手当等についての勤続期間(③)に通算された前の退職手当等についての勤続期間

うち 特定役員等勤続期間

うち 短期勤続期間

⑨Bの退職手当等についての勤続期間(④)に通算された前の退職手当等についての勤続期間

うち 特定役員等勤続期間

うち 短期勤続期間

⑩③又は⑤の勤続期間のうち、⑧又は⑨の勤続期間だけからなる部分の期間

⑪⑦と⑩の通算期間

⑫うち ⑧と⑩の通算期間

⑬うち ⑨と⑪の通算期間

B又はCの退職手当等がある場合には、このE欄にも記載してください。

区分

退職手当等となった年月日

収入金額（円）

源泉徴収額（円）

特別徴収額（円）

支受年月日

退職の区分

老齢給付金

支払者の所在地（住所）・名称（氏名）

B

一般

特定役員

短期

C